

伊賀市立桃青の丘幼稚園だより

# あさがお

～多様な主体性を涵養する教育～



5月というものの夏のような日差しが降り注いでいます。

毎日の自ら選んでする戸外遊びを大切にしてお過ごししていく中で、少しずつ暑さに慣れるようにしていきたいと思ひます。

子どもたちへの生活指導の中で、喉が渇く前に少しずつ水分をとる、よく眠る、疲れたと感じたら木陰や室内で休むなどの話を伝えています。子どもたちは、話をよく聴いて学んでいることがたくさんあります。

朝の登園時に、「今日のもっこ信号の色は何色かな?」「何度になったら赤信号になるの?」などの会話がありました。子どもたちの身近な環境に興味関心をもって、疑問に思ったことをさまざまな方法で表現している姿がとても素敵だと感じます。日々の子どもの体調を見ながら慎重に保育を進めていきたいと思ひます。

自然体験の中で、さまざまな協調性や社会性を培い、感性を豊かにする  
～ゲストティーチャー・仲間とともに学びあう～



事前学習を受ける



挨拶「いきます。」



興味関心の広がり



「迷路みたい。」

お米はどのように大きくなっていくのか、田んぼにはどのような生き物がいるのかなど、子どもたちの探求心を大切にしたいと思ひ、ゲストティーチャーと学ぶ体験学習の機会をつくりました。このような実体験に勝るものはないと思ひます。この経験が、子どもたちの成長する過程の中で生きる力や思考力につながるものです。



体験学習で学んだことを園生活に取り入れ、さらに豊かな学びにするために事後活動を続けています。【5歳児】

【学びの連続性を大切に】



もっこミニ田んぼづくり【5歳児】



図鑑で調べて考える



みんなで栽培・観察ミニ田んぼ



多様な動作を経験するサーキット運動【4歳児】

暑さに少しずつ慣れていったり、心身ともに健康な身体づくりを目指したりするために毎日の運動を続けています。休息やこまめな水分補給を忘れないようにするために、私たちからの声掛けを大切に、子ども同士が声を掛けあったり、自分で気付いて飲水したりする力を目指しています。



幼稚園で初めての「かけっこ」 ホールで運動【3歳児】

遊び・運動・生活の全てに興味関心を持ち、ワクワクしながら取り組んでいる3歳児の姿が見られます。「よ～いどんしてきま～す！」と元気な声で園庭に出発しています。友だちや先生と一緒に思い切り走る楽しさや満足感を味わっている毎日を送れるように環境を整えています。

自然体験の出来事を通して、話しあいながら生命を大切にする豊かな心を育む  
～日々の生活の中のエピソードから学ぶ～

幼稚園教育の中で、さまざまな栽培活動を大切に捉えて活動しています。現在、畑には、タマネギ、サツマイモ、ジャガイモ、メロンが育ってきています。園庭には、ミニ田んぼ、夏野菜、季節の花がたくさん植えてあります。また、初めてトマトの苗を植えてその実を見た3歳児は、興味をもってワクワクしながら見に行きました。そして、緑色の小さな実を見つけて、手に取って戻ってきました。発見したドキドキ・ワクワクする気持ちを大切にしたいと思った教師は、その姿を受け止めました。学年団では、3歳児にも命の大切さを伝えていきたいと話し合い、教師はクラス活動の時に子どもたちに言葉を投げ掛けました。「この緑色の小さな命は、今、取ってしまうと大きくなれないのよ。だから、赤くなるまでみんなで待ちましょね。トマトさんが大きくなるのが楽しみだね。」と伝えました。このような毎日の出来事の中で、どのような子どもに育ってほしいのかを考えながら保育を進めています。そして、幼児期だからこそ分かりやすい言葉を掛け、子どもの考える力を引き出していくことを大事にしています。このような営みを繰り返し、やがては自分や他者の生命を大切にする人に育ってほしいと思い、園全体でさまざまな人権保育を進めています。ぜひ、お家の人も、園内で育ってきた野菜や生き物を通して、親子でいろいろな会話を楽しんでほしいと思います。

～5月あさがおイラスト～  
気持ちのいい挨拶が素敵  
みこさん

文責 まつなが あい



いいにおい!【3歳児】



「なにか植えてる!」

～畑見学中～



「大きくなってね。」